



モバイルコンピューティング推進コンソーシアム
Mobile Computing Promotion Consortium

MCPC TR-024

**モバイル機器「安全上のご注意」記載
ガイドライン**

Version 1.40

2018年12月21日

**モバイルコンピューティング推進コンソーシアム
技術委員会**

変更履歴

日付	Version	変更内容
2016年3月24日	1.00	Base version initial release.
2017年3月23日	1.10	<ul style="list-style-type: none">以下の管理番号の一部文言を修正 1, 3, 12, 19, 20, 22, 23, 27, 29, 30, 31, 34, 36, 38, 39, 40, 41, 42, 43, 44, 45, 46, 47, 48, 49, 53, 55, 57, 59, 60, 61, 62, 63, 66, 67, 68, 69, 70, 71, 72, 73, 74, 76, 77, 78, 83, 89, 93, 94, 97, 98, 99, 100, 101, 102, 106, 108, 109, 112, 113, 115以下の管理番号の項目を新規追加 8-1(外圧による電池パック破損), 60-1(SIM取り出し用ピン)以下の管理番号の項目を削除 32(31と内容を統合)
2017年7月21日	1.20	<ul style="list-style-type: none">以下の管理番号の一部文言を修正 8-1(外圧による電池パック破損) 電池の発火、破裂、発熱、漏液破損により、火災、やけど、けがなどの原因となります。 →電池の破損により、火災、やけど、けがなどの原因となります。
2018年1月25日	1.30	<ul style="list-style-type: none">以下の管理番号の一部文言を修正 1, 8, 11, 19, 28, 29, 30, 31, 55, 60, 72, 76, 77, 83, 98, 99, 100以下の管理番号の項目を新規追加 9-1(内蔵電池の取り外しの禁止)以下の管理番号の項目を削除 80(8, 25と内容を統合)
2018年12月21日	1.40	<ul style="list-style-type: none">以下の管理番号の一部文言を修正 21, 27, 52, 70, 98, 99, 101以下の管理番号の項目を新規追加 9-2(背面カバーの取り外しの禁止) 21-1(ガソリンスタンド構内などでの使用)

ドキュメント発行者、および著作権者:

〒105-0011

東京都港区芝公園3-5-12 長谷川グリーンビル

モバイルコンピューティング推進コンソーシアム (MCPC)

電話: 03-5401-1935

FAX: 03-5401-1937

EMAIL: office@mcpc-jp.org

WEB SITE: <http://www.mcpc-jp.org>

機密保持について:

MCPC会則、IP Policyを遵守する。

免責について:

本ドキュメントはモバイルコンピューティングに関する標準仕様、推奨仕様などを提供するもので、モバイルコンピューティング推進コンソーシアム(以下MCPCとする)は、本ドキュメントを使用した結果発生した損害、第三者の特許、またはその他の権利の侵害に対して、一切の責任を負わない。また、本ドキュメントはMCPC、または第三者が保持するいかなる権利のライセンスを許諾するものではない。

Table of Contents

1.	はじめに.....	1
2.	本ガイドラインで扱う範囲.....	1
3.	本ガイドラインの取り扱い.....	1
4.	記載時の留意点.....	1
5.	安全上のご注意記載例.....	2
Appendix A. 参照文献.....		22

1. はじめに

近年、スマートフォンをはじめとするモバイル機器は、多数の部品やモジュールで構成され多くの機能が搭載されており、取り扱いに関しより分かりやすく利用者へ伝える必要性がある。そのため、安全上の注意記載においても、利用者に誤解を与えたり、認識の低下を招いたりする表記は避けなければならない。

本ガイドラインは、通信キャリアやメーカーによって、安全上の注意の記載内容に違いが生じないように、取扱説明書等への記載例を示したものであり、利用者に誤解を与えることなく、より安全に正しく製品を使用できるようにすることを目的としている。

2. 本ガイドラインで扱う範囲

本ガイドラインは、モバイル機器とそれに付随する機器を対象に策定した。両機器に適用できるものは「共通」を、特定の機器もしくは部品に限られるものは適した名称を、それぞれ項目列に記載している。

ここでの「モバイル機器」とは、通信モジュールを搭載し、音声やデータを問わず、通信を行う機器を指す。

3. 本ガイドラインの取り扱い

本ガイドラインで定めた各記載文は、取扱説明書（簡易ガイドなども含む）や取扱説明書に準じた媒体に記載することを想定している。

各注意喚起内容を取扱説明書等に記載する際、本書で列挙した注意喚起項目は自由に取捨選択を行う事が可能だが、掲載する場合は本ガイドラインで定義した掲載文に準拠する事を奨励する。

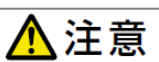
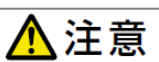
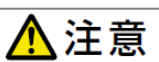












4. 記載時の留意点








実際の記載は黒字、機器の搭載機能による違いや、会社名などの固有名詞を記載することを想定した箇所など、各項目で留意すべき点がある場合は、青字で記載をしている。

また、一般的な用語を用いた記載をしているが、機器によってはより適切な用語を使用したほうが良い場合がある。その場合は適切な記載に修正をする必要がある。




なお、ガイドラインで示した記載例は、最低限必要とされる内容であるため、対象とする機器の形状や機能によっては、記載を追加する必要がある。







5. 安全上のご注意記載例

No	項目	カテゴリ	絵表示	掲載文												
1	共通説明 (凡例)	—	—	<p>■ ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。</p> <p>※各製品に同梱される取扱説明書の場合は、以下にしてください。</p> <p>■ ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。また、お読みになった後は大切に保管してください。</p>												
2	共通説明 (凡例)	—	—	<p>■ ここに示した注意事項は、お使いになる人や、他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐための内容を記載していますので、必ずお守りください。</p>												
3	共通説明 (凡例)	—	—	<p>■ 次の表示の区分は、表示内容を守らず、誤った使用をした場合に生じる危害や損害の程度を説明しています。</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="text-align: center;"> 危険</td> <td>この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷^{※1}を負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;"> 警告</td> <td>この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷^{※1}を負う可能性が想定される」内容です。</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;"> 注意</td> <td>この表示は、取り扱いを誤った場合、「軽傷^{※2}を負う可能性が想定される場合および物的損害^{※3}の発生が想定される」内容です。</td> </tr> </table> <p>※1 重傷：失明・けが・やけど(高温・低温)・感電・骨折・中毒などで後遺症が残るもの、および治療に入院・長期の通院を要するものを指します。</p> <p>※2 軽傷：治療に入院や長期の通院を要さない、けが・やけど(高温・低温)・感電などを指します。</p> <p>※3 物的損害：家屋・家財および家畜・ペットなどにかかわる拡大損害を指します。</p> <p>※ 使用する絵表示のみ記載してください。</p>	 危険	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷 ^{※1} を負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。	 警告	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷 ^{※1} を負う可能性が想定される」内容です。	 注意	この表示は、取り扱いを誤った場合、「軽傷 ^{※2} を負う可能性が想定される場合および物的損害 ^{※3} の発生が想定される」内容です。						
 危険	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷 ^{※1} を負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。															
 警告	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷 ^{※1} を負う可能性が想定される」内容です。															
 注意	この表示は、取り扱いを誤った場合、「軽傷 ^{※2} を負う可能性が想定される場合および物的損害 ^{※3} の発生が想定される」内容です。															
4	共通説明 (凡例)	—	—	<p>禁止・強制の絵表示の説明</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="text-align: center;"></td> <td>禁止(してはいけないこと)を示す記号です。</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;"></td> <td>分解してはいけないことを示す記号です。</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;"></td> <td>水がかかる場所で使用したり、水に濡らしたりしてはいけないことを示す記号です。</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;"></td> <td>濡れた手で扱ってはいけないことを示す記号です。</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;"></td> <td>指示に基づく行為の強制(必ず実行していただくこと)を示す記号です。</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;"></td> <td>電源プラグをコンセントから抜いていただくことを示す記号です。</td> </tr> </table> <p>※ 使用する絵表示のみ記載してください。</p>		禁止(してはいけないこと)を示す記号です。		分解してはいけないことを示す記号です。		水がかかる場所で使用したり、水に濡らしたりしてはいけないことを示す記号です。		濡れた手で扱ってはいけないことを示す記号です。		指示に基づく行為の強制(必ず実行していただくこと)を示す記号です。		電源プラグをコンセントから抜いていただくことを示す記号です。
	禁止(してはいけないこと)を示す記号です。															
	分解してはいけないことを示す記号です。															
	水がかかる場所で使用したり、水に濡らしたりしてはいけないことを示す記号です。															
	濡れた手で扱ってはいけないことを示す記号です。															
	指示に基づく行為の強制(必ず実行していただくこと)を示す記号です。															
	電源プラグをコンセントから抜いていただくことを示す記号です。															

No	項目	カテゴリ	絵表示	掲載文
5	共通	①危険	 禁止	高温になる場所や熱のこもりやすい場所(火のそば、暖房器具のそば、こたつや布団の中、直射日光の当たる場所、炎天下の車内など)で使用、保管、放置しないでください。 火災、やけど、けが、感電などの原因となります。
6	共通	①危険	 禁止	電子レンジ、IH 調理器などの加熱調理器、圧力釜などの高圧容器に入れたり、近くに置いたりしないでください。 火災、やけど、けが、感電などの原因となります。
7	共通	①危険	 禁止	砂や土、泥を掛けたり、直に置いたりしないでください。また、砂などが付着した手で触れないでください。 火災、やけど、けが、感電などの原因となります。 ※ 防水・防塵端末の場合は、以下の内容を追記。 防水・防塵性能については以下をご参照ください。(性能に合わせてページの案内) ⇒P.●●「防水・防塵性能」
8	共通	①危険	 禁止	水などの液体(飲料水、汗、海水、ペットの尿など)で濡れた状態では、充電しないでください。 また、風呂場などの水に触れる場所では、充電しないでください。 火災、やけど、けが、感電などの原因となります。 ※ 防水端末の場合は、以下の内容を追記。 防水性能については以下をご参照ください。 ⇒P.●●「防水性能」
8-1	共通	①危険	 禁止	本端末に強い圧力を加えたり、折損させたりしないでください。特に衣類のポケットに入れて持ち運ぶ場合は、ぶつけたり、物に挟んだりしないでください。 電池の破損により、火災、やけど、けがなどの原因となります。 ※ご注意いただきたい例 ・ズボンやスカートのポケットに入れた状態で座ったり、しゃがんだりする ・上着のポケットに入れた状態で、扉や自動車のドアに挟む ・ソファやベッド、布団など柔らかい物の上や、床の上で踏みつける ※ 本体取説以外に掲載の場合、「本端末」の部分は「携帯端末」など、製品の種別に合わせた記載としてください。 ※ 電池内蔵端末の場合は「電池」を「内蔵電池」として記載。 ※ 電池を使用しない端末は記載不要。
9	共通	①危険	 分解禁止	分解、改造をしないでください。 火災、やけど、けが、感電などの原因となります。 ※ 通電しない機器には記載不要。
9-1	共通	①危険	 禁止	本端末の内蔵電池を取り外そうとしないでください。 火災、やけど、けがなどの原因となります。 ※電池内蔵端末のみ記載。

No	項目	カテゴリ	絵表示	掲載文
9-2	共通	①危険	 禁止	<p>本端末の背面カバーを取り外そうとしないでください。 火災、やけど、けがなどの原因となります。</p> <p>※背面カバーが取り外せない端末のみ記載。 ※「背面カバー」は、製品の名称に合わせて記載。</p>
10	共通	①危険	 水濡れ禁止	<p>水などの液体(飲料水、汗、海水、ペットの尿など)で濡らさないでください。 火災、やけど、けが、感電などの原因となります。</p> <p>※ 防水端末の場合は、以下の内容を追記。 防水性能については以下をご参照ください。 ⇒P.●●「防水性能」</p>
11	共通	①危険	 水濡れ禁止	<p>充電端子や外部接続端子に水などの液体(飲料水、汗、海水、ペットの尿など)を入れないでください。 火災、やけど、けが、感電などの原因となります。</p> <p>※ 防水端末の場合は、以下の内容を追記。 防水性能については以下をご参照ください。 ⇒P.●●「防水性能」</p> <p>※「充電端子」「外部接続端子」が無い製品は記載不要。 ※ 電池パックやアダプタの場合は「外部接続端子」は記載不要。 ※ USB 接続ケーブルの場合は、以下にしてください。 端子に水などの液体(飲料水、汗、海水、ペットの尿など)を入れないでください。 火災、やけど、けが、感電などの原因となります。</p>
12	共通	①危険	 指示	<p>オプション品は、●●●が指定したものを使用してください。 指定以外のものを使用すると、火災、やけど、けが、感電などの原因となります。</p> <p>※「●●●」は、各社の社名を記載してください。</p>
13	共通	②警告	 禁止	<p>落下させる、踏みつける、投げつけるなど強い力や衝撃、振動を与えないでください。 火災、やけど、けが、感電などの原因となります。</p>
14	共通	②警告	 禁止	<p>充電端子や外部接続端子に導電性異物(金属片、鉛筆の芯など)を接触させたり、ほこりが内部に入ったりしないようにしてください。 火災、やけど、けが、感電などの原因となります。</p> <p>※「充電端子」「外部接続端子」が無い製品は記載不要。 ※ 電池パックやアダプタの場合は「外部接続端子」は記載不要。 ※ USB 接続ケーブルの場合は、以下にしてください。 端子に導電性異物(金属片、鉛筆の芯など)を接触させたり、ほこりが内部に入ったりしないようにしてください。 火災、やけど、けが、感電などの原因となります。</p>
15	共通	②警告	 禁止	<p>使用中や充電中に、布団などで覆ったり、包んだりしないでください。 火災、やけどなどの原因となります。</p>






No	項目	カテゴリ	絵表示	掲載文
16	共通	②警告	 禁止	<p>ワイヤレスチャージャーや本端末、電池パックに金属製のもの（金属を含む材質のシールなど）を貼り付けないでください。 火災、やけど、けがなどの原因となります。</p> <p>※ ワイヤレスチャージャー対応機種や、単体でワイヤレスチャージャーで充電できる電池パックのみ記載。 ※ 本体取説以外に掲載の場合、「本端末」の部分は「携帯端末」など、製品の種別に合わせた記載としてください。 ※ 「ワイヤレスチャージャー」は「ワイヤレス充電器」等、各社の名称で記載してください。 ※ 電池内蔵端末の場合は、「電池パック」の記載は不要。 ※ qi マークの場所等を考慮し、適宜、表現は書き換えてください。</p>
17	共通	②警告	 禁止	<p>ワイヤレスチャージャーと本端末、電池パックの間に、金属製のもの（金属を含む材質のストラップやクリップなど）を置かないでください。 火災、やけど、けがなどの原因となります。</p> <p>※ ワイヤレスチャージャー対応機種や、単体でワイヤレスチャージャーで充電できる電池パックのみ記載。 ※ 本体取説以外に掲載の場合、「本端末」の部分は「携帯端末」など、製品の種別に合わせた記載としてください。 ※ 「ワイヤレスチャージャー」は「ワイヤレス充電器」等、各社の名称で記載してください。 ※ 電池内蔵端末の場合は、「電池パック」の記載は不要。</p>
18	共通	②警告	 指示	<p>ワイヤレスチャージャーで充電する場合は、本端末に装着しているカバーなどは取り外してください。 カバーの材質や厚み、本端末とカバーの間に挟まったゴミなどの異物によって、正常に充電ができず、火災、やけど、けがなどの原因となります。</p> <p>※ ワイヤレスチャージャー対応機種のみ記載。 ※ 本体取説以外に掲載の場合、「本端末」の部分は「携帯端末」など、製品の種別に合わせた記載としてください。 ※ 「ワイヤレスチャージャー」は「ワイヤレス充電器」等、各社の名称で記載してください。</p>
19	共通	②警告	 指示	<p>高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器の近くでは、電源を切ってください。 電波により電子機器が誤動作するなどの悪影響を及ぼす原因となります。 ※ご注意いただきたい電子機器の例 補聴器、植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器、その他の自動制御機器など。植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器をご使用になる方は、各医用電気機器メーカーもしくは販売業者に電波による影響についてご確認ください。</p> <p>※ ワイヤレスチャージャー対応機種以外は[本端末]に記載する内容。</p>

No	項目	カテゴリ	絵表示	掲載文
20	共通	②警告		<p>所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合は、充電を中止してください。 過充電などにより、火災、やけど、けがなどの原因となります。</p> <p>※ 充電機能がないものについては記載不要。</p>
21	共通	②警告		<p>可燃性ガスが発生する可能性のある場所や粉塵が発生する場所に立ち入る場合は、必ず事前に本端末の電源を切り、充電をしている場合は中止してください。 可燃性ガスなどへの引火により爆発や火災などの原因となります。</p>
21-1	共通	②警告		<p>ガソリンスタンド構内などでの使用については、各施設の指示に従ってください。 ガソリンスタンド構内などでは充電をしないでください。 また、ガソリンスタンド構内などでご使用になる際は落下等に注意し、特に給油中は使用しないでください。 可燃性ガスなどへの引火により爆発や火災などの原因となります。</p>
22	共通	②警告		<p>使用中、充電中、保管中に、異臭、異音、発煙、発熱、変色、変形などの異常がみられた場合は次の作業を行ってください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・電源プラグをコンセントやアクセサリソケットから抜く。 ・本端末の電源を切る。 ・電池パックを本端末から取り外す。 <p>上記の作業を行わないと、火災、やけど、けが、感電などの原因となります。</p> <p>※ 本体取説以外に掲載の場合、「本端末」の部分は、「携帯端末」など、製品の種別に合わせた記載としてください。 ※ 電池内蔵端末の場合は、「・電池パックを本端末から取り外す。」の記載は不要。 ※ USB 接続ケーブルの場合は、以下にしてください。</p> <p>使用中、充電中、保管中に、異臭、異音、発煙、発熱、変色、変形などの異常がみられた場合は次の作業を行ってください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・USB 接続ケーブルを接続機器から抜く。 ・接続機器の電源を切る。 <p>上記の作業を行わないと、火災、やけど、けが、感電などの原因となります。</p>
23	共通	③注意		<p>破損したまま使用しないでください。 火災、やけど、けがなどの原因となります。</p> <p>※ リアカバーなど通電しないものについては、「火災、やけど」の記載は不要。</p>
24	共通	③注意		<p>ぐらついた台の上や傾いた場所など、不安定な場所には置かないでください。バイブレータ設定中は特にご注意ください。 落下して、けがなどの原因となります。</p> <p>※ バイブレータ非搭載製品は「バイブレータ設定中は特にご注意ください。」は削除して掲載。</p>




No	項目	カテゴリ	絵表示	掲載文
25	共通	③注意	 禁止	<p>湿気やほこりの多い場所や高温になる場所での使用、保管はしないでください。 火災、やけど、感電などの原因となります。</p> <p>※ 防水・防塵端末の場合は、以下の内容を追記。 防水・防塵性能については以下をご参照ください。 ⇒P.●●「防水・防塵性能」</p>
26	共通	③注意	 禁止	<p>子供が使用する場合は、保護者が取り扱いの方法を教え、誤った使いかたをさせないでください。 けがなどの原因となります。</p>
27	共通	③注意	 禁止	<p>乳幼児の手の届く場所に置かないでください。 SIM トレイやSIM 取り出し用ピンなどの小さい部品の保管場所には特にご注意ください。 誤飲、けが、感電などの原因となります。</p> <p>※ リアカバーなど通電しないものについては、「感電」の記載は不要。 ※ SIM トレイやSIM 取り出し用ピンは、製品の対応・添付に応じて記載。</p>
28	共通	③注意	 指示	<p>本端末を継続して使用される場合や充電中は温度が高くなる場合がありますのでご注意ください。また、衣類のポケットに入れたり、眠ってしまうなどして、意図せず継続して触れることがないようにご注意ください。</p> <p>アプリ、通話、データ通信、テレビや動画視聴など、継続しての使用や充電中は、本端末や電池パック・アダプタの温度が高くなる場合があります。温度の高い部分に直接継続して触れるとお客様の体質や体調によっては肌の赤みやかゆみ、かぶれ、低温やけどなどの原因となります。</p> <p>※ 機能名、項目などに差分がある場合は、適切な説明に適宜編集願います。 ※ 対応している機能に応じて、記載を修正願います。 ※ アダプタの場合は、「本端末」の記載は不要。</p>
29	本端末	①危険	 禁止	<p>火の中に投入したり、熱を加えたりしないでください。火災、やけど、けがなどの原因となります。</p>
30	本端末	①危険	 禁止	<p>鋭利なもの(釘など)を刺したり、硬いもの(ハンマーなど)で叩いたり、踏みつけたりするなど過度な力を加えないでください。火災、やけど、けがなどの原因となります。</p>
31	本端末	①危険	 指示	<p>本端末内部の物質が目や口などに入った場合は、すぐにきれいな水で洗った後、直ちに医師の診療を受けてください。本端末内部の物質の影響により、失明や体調不良などの原因となります。</p>
33	本端末	②警告	 禁止	<p>赤外線ポートを目に向けて赤外線送信しないでください。 目に悪影響を及ぼすなどの原因となります。</p> <p>※ 赤外線ポート機能搭載機のみ記載。</p>

No	項目	カテゴリ	絵表示	掲載文
34	本端末	②警告	 禁止	赤外線通信利用時に、赤外線ポートを赤外線装置のついた家電製品などに向けて操作しないでください。 赤外線装置の誤動作により、事故などの原因となります。 ※ 赤外線ポート機能搭載機のみ記載。
35	本端末	②警告	 禁止	ライトの発光部を人の目に近づけて点灯、発光させないでください。特に、乳幼児に対しては十分に距離を離してください。 視力障害などの原因となります。また、目がくらんだり驚いたりしてけがなどの事故の原因となります。 ※ フォトライト・フラッシュなど搭載機のみ記載。
36	本端末	②警告	 禁止	自動車などの運転者に向けてライトを点灯、発光しないでください。 運転の妨げとなり、事故などの原因となります。 ※ フォトライト・フラッシュなど搭載機のみ記載。
37	本端末	②警告	 禁止	点滅を繰り返す画面を長時間見ないでください。 けいれんや意識喪失などの原因となります。
38	本端末	②警告	 禁止	本端末内の●●●UIMカードやメモリーカードの挿入口に水などの液体(飲料水、汗、海水、ペットの尿など)や金属片、燃えやすいものなどの異物を入れしないでください。 また、●●●UIMカードやメモリーカードの挿入場所や向きを間違えないでください。 火災、やけど、けが、感電などの原因となります。 ※ 対応機種にあわせて記載。 ※ UIMカードは各社の呼称にあわせて記載。 ※ メモリーカードという表現については、端末の対象品を記載してください。
39	本端末	②警告	 禁止	カメラのレンズに直射日光などを長時間あてないでください。 レンズの集光作用により、火災、やけど、けがなどの原因となります。
40	本端末	②警告	 禁止	ブザーを鳴らす場合は、耳元で鳴らさないでください。 難聴など耳への障害の原因となります。 ※ ブザー機能搭載機のみ記載。 ※ 名称は適宜変更。

No	項目	カテゴリ	絵表示	掲載文
41	本端末	②警告	 指示	<p>航空機へのご搭乗にあたり、本端末の電源を切るか、機内モードに設定してください。</p> <p>航空機内での使用については制限があるため、各航空会社の指示に従ってください。</p> <p>また、自動的に電源が入る機能を設定している場合は、設定を解除してください。</p> <p>電波により航空機の電子機器に悪影響を及ぼす原因となります。</p> <p>なお、航空機内での使用において禁止行為をした場合、法令により罰せられることがあります。</p> <p>※「機内モード」は、対応機種にあわせて記載。 ※ 自動で電源が入らない機種は、「自動的に電源が入る機能を設定している場合は、設定を解除してください。」を削除してください。</p>
42	本端末	②警告	 指示	<p>病院での使用については、各医療機関の指示に従ってください。</p> <p>使用を禁止されている場所では、本端末の電源を切ってください。</p> <p>また、自動的に電源が入る機能を設定している場合は、設定を解除してください。</p> <p>電波により電子機器や医用電気機器に悪影響を及ぼす原因となります。</p> <p>※ 自動で電源が入らない機種は、「自動的に電源が入る機能を設定している場合は、設定を解除してください。」を削除してください。</p>
43	本端末	②警告	 指示	<p>航空機へのご搭乗にあたり、本端末を接続しているパソコンの電源を切るか、本端末をパソコンから取り外してください。</p> <p>航空機内での使用については制限があるため、各航空会社の指示に従ってください。</p> <p>電波により航空機の電子機器に悪影響を及ぼす原因となります。</p> <p>なお、航空機内での使用において禁止行為をした場合、法令により罰せられることがあります。</p> <p>※ USB／カードタイプ端末のみ記載。</p>
44	本端末	②警告	 指示	<p>病院での使用については、各医療機関の指示に従ってください。</p> <p>使用を禁止されている場所では、本端末を接続しているパソコンの電源を切るか、本端末をパソコンから取り外してください。</p> <p>電波により電子機器や医用電気機器に悪影響を及ぼす原因となります。</p> <p>※ USB／カードタイプ端末のみ記載。</p>








No	項目	カテゴリ	絵表示	掲載文
45	本端末	②警告	 指示	<p>ハンズフリーに設定して通話するときや、大きな音で着信音が鳴っているとき、待ち受け中などは、必ず本端末を耳から離してください。</p> <p>また、イヤホンマイクなどを本端末に装着し、ゲームや動画・音楽再生などをする場合は、適度なボリュームに調節してください。</p> <p>ハンズフリーに設定して通話すると、本端末から大きな音が出ます。待ち受け中であっても、突然の着信音やアラーム音が鳴動する場合があります。</p> <p>大きな音を長時間連続して聞くと、難聴など耳への障害の原因となります。</p> <p>また、音量が大きすぎると周囲の音が聞こえにくく、事故の原因となります。</p>
46	本端末	②警告	 指示	<p>心臓の弱い方は、着信バイブレータ(振動)や着信音量の設定に注意してください。</p> <p>突然の着信バイブレータ(振動)や着信音の鳴動に驚き、心臓に悪影響を及ぼす原因となります。</p>
47	本端末	②警告	 指示	<p>医用電気機器などを装着している場合は、医用電気機器メーカーもしくは販売業者に、電波による影響についてご確認の上ご使用ください。</p> <p>電波により医用電気機器などに悪影響を及ぼす原因となります。</p>
48	本端末	②警告	 指示	<p>高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器の近くでは、本端末の電源を切ってください。</p> <p>電波により電子機器が誤動作するなどの悪影響を及ぼす原因となります。</p> <p>※ご注意いただきたい電子機器の例 補聴器、植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器、その他の自動制御機器など。植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器をご使用になる方は、各医用電気機器メーカーもしくは販売業者に電波による影響についてご確認ください。</p> <p>※ ワイヤレスチャージャー対応機種では[共通]に記載する内容。</p>
49	本端末	②警告	 指示	<p>高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器の近くでは、本端末をパソコンなどから取り外してください。</p> <p>電波により電子機器が誤動作するなどの悪影響を及ぼす原因となります。</p> <p>※ご注意いただきたい電子機器の例 補聴器、植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器、その他の自動制御機器など。植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器をご使用になる方は、各医用電気機器メーカーもしくは販売業者に電波による影響についてご確認ください。</p> <p>※ USB/カードタイプ端末のみ記載。</p>







No	項目	カテゴリ	絵表示	掲載文
50	本端末	②警告	 指示	ディスプレイ部やカメラのレンズを破損した際には、割れたガラスや露出した本端末の内部にご注意ください。 破損部や露出部に触れると、やけど、けが、感電などの原因となります。 ※「割れたガラス」は、使用している部材に応じて記載内容を変更してください。
51	本端末	②警告	 指示	内蔵電池が漏液したり、異臭がしたりするときは、直ちに使用をやめて火気から遠ざけてください。 漏液した液体に引火し、発火、破裂などの原因となります。 ※ 電池内蔵端末のみ記載。
52	本端末	②警告	 指示	ペットなどが本端末に噛みつかないようにご注意ください。 電池の発火、破裂、発熱、漏液により、火災、やけど、けがなどの原因となります。 ※ USB 接続ケーブルの場合は、以下にしてください。 ペットなどが噛みつかないようにご注意ください。 発熱により、火災、やけど、けがなどの原因となります。
53	本端末	③注意	 禁止	アンテナ、ストラップなどを持って本端末を振り回さないでください。 けがなどの事故の原因となります。 ※「アンテナ、ストラップ」は適宜変更。 ※ アンテナ / ストラップ穴が両方ない機種においては、記載は不要。
54	本端末	③注意	 禁止	モーションセンサーのご利用にあたっては、必ず周囲の安全を確認し、本端末をしっかりと握り、必要以上に振り回さないでください。 けがなどの事故の原因となります。 ※「モーションセンサー」は、各機種での名称に置き換えてください。
55	本端末	③注意	 禁止	ディスプレイを破損し、内部の物質が漏れた場合は、顔や手などの皮膚や衣類などにつけないでください。 目や皮膚への傷害などを起こす原因となります。 内部の物質が目や口などに入った場合や、皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにきれいな水で洗い流してください。 また、目や口などに入った場合は、洗浄後直ちに医師の診療を受けてください。
56	本端末	③注意	 禁止	リアカバーを取り外す際は、必要以上に力を入れないでください。 リアカバーが破損し、けがなどの原因となります。 ※ リアカバーがある端末のみ記載。 ※ 「リアカバー」は、製品の名称に合わせて記載。
57	本端末	③注意	 禁止	リアカバーを取り付けるときは、指などの体の一部を挟まないでください。 けがなどの原因となります。 ※ リアカバーがある端末のみ記載。 ※ 「リアカバー」は、製品の名称に合わせて記載。

No	項目	カテゴリ	絵表示	掲載文
58	本端末	③注意	 禁止	リアカバーを外したまま使用しないでください。 やけど、けが、感電などの原因となります。 ※ リアカバーがある端末のみ記載。 ※ 「リアカバー」は、製品の名称に合わせて記載。
59	本端末	③注意	 禁止	一般のゴミと一緒に捨てないでください。 火災、やけど、けがなどの原因となります。また、環境破壊の原因となります。不要となった本端末は、●●ショップなど窓口にお持ちいただくか、回収を行っている市区町村の指示に従ってください。 ※ 電池内蔵端末のみ記載。 ※ ショップ名称は、各社の名称で記載。
60	本端末	③注意	 禁止	内蔵電池内部の物質が漏れた場合は、顔や手などの皮膚や衣類などにつけないでください。 目や皮膚への傷害などを起こす原因となります。 内部の物質が目や口などに入った場合や、皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにきれいな水で洗い流してください。 また、目や口などに入った場合は、洗浄後直ちに医師の診療を受けてください。 ※ 電池内蔵端末のみ記載。
60-1	本端末	③注意	 禁止	●●●UIM カードの取り外しの際は、指などの体の一部を傷つけないよう、SIM 取り出し用ピンまたはペーパークリップの先端にご注意ください。 SIM 取り出し用ピンまたはペーパークリップの先端に触れると、けがなどの原因となります。 ※ UIM カードの取り外しに SIM 取り出し用ピンやペーパークリップを使用しない場合は記載不要。 ※ UIM カードは各社の呼称にあわせて記載。 ※ SIM 取り出し用ピン、およびペーパークリップは、製品の対応・添付に応じて記載。
61	本端末	③注意	 指示	自動車内で使用する場合、自動車メーカーもしくは販売業者に、電波による影響についてご確認の上ご使用ください。 車種によっては、電波により車載電子機器に悪影響を及ぼす原因となりますので、その場合は直ちに使用を中止してください。

No	項目	カテゴリ	絵表示	掲載文										
62	本端末	③注意	 指示	<p>本端末の使用により、皮膚に異状が生じた場合は、直ちに使用をやめ、医師の診療を受けてください。 お客様の体質や体調によっては、かゆみ、かぶれ、湿疹などが生じることがあります。</p> <p>各箇所の材質について⇒P.〇〇「材質一覧」 ※ 本取説以外に掲載の場合、「本端末」の部分は、製品の種別に合わせた記載としてください。 ※ 下記の表にならい、お客様が触れる可能性のある部位に使用されている全ての材料、表面処理を記載願います。 ※ 材質一覧の表を、安全上のご注意と取り扱い上のご注意の間へ入れてください。</p> <p><材質一覧></p> <table border="1" data-bbox="699 698 1404 884"> <thead> <tr> <th>使用箇所</th> <th>材質/表面処理</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>例)メインディスプレイパネル</td> <td></td> </tr> <tr> <td>例)カメラレンズ、カメラパネル</td> <td></td> </tr> <tr> <td>例)サイドボタン</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	使用箇所	材質/表面処理	例)メインディスプレイパネル		例)カメラレンズ、カメラパネル		例)サイドボタン			
使用箇所	材質/表面処理													
例)メインディスプレイパネル														
例)カメラレンズ、カメラパネル														
例)サイドボタン														
63	本端末	③注意	 指示	<p>本端末を開閉する際は、指などの体の一部を挟まないようご注意ください。 すき間に挟まれると、けがなどの原因となります。</p> <p>※ スライド機構、折りたたみ機構がある機種のみ記載。</p>										
64	本端末	③注意	 指示	<p>本端末の●●●部に磁気を発生する部品を使用しているため、金属片(カッターの刃やホチキスの針など)が付着していないことを確認してください。 付着物により、けがなどの原因となります。</p> <p>※ 「●●●部」は、スピーカ部等、金属片を引きつける磁気を発生する部品は全て記載してください。</p>										
65	本端末	③注意	 指示	<p>ディスプレイを見る際は、十分明るい場所で、ある程度の距離をとってください。 暗い場所や近くで見ると視力低下などの原因となります。</p>										
66	本端末	③注意	 指示	<p>テレビ視聴時以外ではアンテナを収納してください。 アンテナを引き出したままで通話などをすると、本人や他の人、周囲の物に当たり、けがなどの事故の原因となります。</p> <p>※ 伸縮式や、格納式のアンテナ搭載機種のみ記載。 ※ 機能の名称は、各機種での名称に置き換えてください。</p>										
67	電池パック	①危険	 禁止	<p>金属片(ネックレスやヘアピンなど)や導電性異物などと接続端子が触れないようにしてください。また、それらのものと一緒に持ち運んだり、保管したりしないでください。 火災、やけど、けがなどの原因となります。</p>										

No	項目	カテゴリ	絵表示	掲載文
68	電池パック	①危険	 禁止	<p>電池パックを本端末にうまく取り付けできない場合は、無理に取り付けしないでください。また、電池パックを本端末からうまく取り外せない場合は、無理に取り外さないでください。 火災、やけど、けがなどの原因となります。</p> <p>※ 本体取説以外に掲載の場合、「本端末」の部分は、「携帯端末」としてください。 ※ 本体取説に記載の場合は、以下を記載してください。 電池パックの取り付け方、取り外し方については以下をご参照ください。 ⇒P.●●「電池パックの取り付け」 ⇒P.●●「電池パックの取り外し」</p>
69	電池パック	①危険	 禁止	<p>火の中に投入したり、熱を加えたりしないでください。 火災、やけど、けがなどの原因となります。</p>
70	電池パック	①危険	 禁止	<p>鋭利なもの(釘など)を刺したり、硬いもの(ハンマーなど)で叩いたり、踏みつけたりするなど過度な力を加えないでください。 火災、やけど、けがなどの原因となります。</p>
71	電池パック	①危険	 指示	<p>電池パックを本端末に取り付けるときは、電池パックの向きを確かめてください。 誤った向きで取り付けると、電池パックの発火、破裂、発熱、漏液により、火災、やけど、けがなどの原因となります。</p> <p>※ 本体取説以外に掲載の場合、「本端末」の部分は、「携帯端末」としてください。 ※ 本体取説に記載の場合は、以下を記載してください。 電池パックの取り付け方については以下をご参照ください。 ⇒P.●●「電池パックの取り付け」</p>
72	電池パック	①危険	 指示	<p>電池パック内部の物質が目や口などに入った場合は、すぐにきれいな水で洗った後、直ちに医師の診療を受けてください。 電池パック内部の物質の影響により、失明や体調不良などの原因となります。</p>
73	電池パック	②警告	 禁止	<p>異臭、発熱、変色、変形などの異常がみられた場合は、使用しないでください。 火災、やけど、けがなどの原因となります。</p>
74	電池パック	②警告	 指示	<p>電池パック内部の物質などが漏れたり、異臭がしたりするときは、直ちに使用をやめて火気から遠ざけてください。 漏液した液体に引火し、発火、破裂などの原因となります。</p>
75	電池パック	②警告	 指示	<p>ペットなどが電池パックに噛みつかないようにご注意ください。 電池パックの発火、破裂、発熱、漏液により、火災、やけど、けがなどの原因となります。</p>

No	項目	カテゴリ	絵表示	掲載文
76	電池パック	③注意	 禁止	電池パック内部の物質が漏れた場合は、顔や手などの皮膚や衣類などにつけないでください。 目や皮膚への傷害などを起こす原因となります。 内部の物質が目や口などに入った場合や、皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにきれいな水で洗い流してください。 また、目や口などに入った場合は、洗浄後直ちに医師の診療を受けてください。
77	電池パック	③注意	 禁止	一般のゴミと一緒に捨てないでください。 火災、やけど、けがなどの原因となります。また、環境破壊の原因となります。不要となった電池パックは、接続端子にテープなどを貼り、絶縁してから●●●ショップなど窓口にお持ちいただくか、回収を行っている市区町村の指示に従ってください。 ※ ショップ名称は、各社の名称で記載。
78	電池パック	③注意	 禁止	濡れた電池パックを使用したり充電したりしないでください。 火災、やけど、けがなどの原因となります。
79	アダプタ	②警告	 禁止	アダプタや USB 接続ケーブルのコードが傷んだら使用しないでください。 火災、やけど、感電などの原因となります。 ※ 「アダプタ」や「USB 接続ケーブル」は、同梱品の有無に応じて記載してください。 ただし、本体取説では、アダプタを同梱していなくても「アダプタ」を記載してください。
81	アダプタ	②警告	 禁止	DC アダプタはマイナスアース車専用です。プラスアース車には使用しないでください。 火災、やけど、感電などの原因となります。
82	アダプタ	②警告	 禁止	雷が鳴り出したら、アダプタや USB 接続ケーブルには触れないでください。 感電などの原因となります。 ※ 「アダプタ」や「USB 接続ケーブル」は、同梱品の有無に応じて記載してください。 ただし、本体取説では、アダプタを同梱していなくても「アダプタ」を記載してください。
83	アダプタ	②警告	 禁止	コンセントやアクセサリソケットにつないだ状態で充電端子をショートさせないでください。また、充電端子に手や指など、身体の一部を触れさせないでください。 火災、やけど、感電などの原因となります。 ※ USB 接続ケーブルの場合は、以下にしてください。また、「携帯端末」の部分は製品の種別に合わせた記載としてください。 携帯端末につないだ状態で端子をショートさせないでください。また、端子に手や指など、身体の一部を触れさせないでください。 火災、やけど、感電などの原因となります。



No	項目	カテゴリ	絵表示	掲載文
84	アダプタ	②警告	 禁止	アダプタや USB 接続ケーブルのコードの上に重いものをのせたり、引っ張るなど無理な力を加えたりしないでください。 火災、やけど、感電などの原因となります。 ※「アダプタ」や「USB 接続ケーブル」は、同梱品の有無に応じて記載してください。 ただし、本体取説では、アダプタを同梱していなくても「アダプタ」を記載してください。
85	アダプタ	②警告	 禁止	コンセントに AC アダプタを抜き差しするときは、金属製ストラップなどの金属類を接触させないでください。 火災、やけど、感電などの原因となります。 ※ USB 接続ケーブルの場合は、以下にしてください。また、「携帯端末」の部分は製品の種別に合わせた記載としてください。 携帯端末に USB 接続ケーブルを抜き差しするときは、金属製ストラップなどの金属類を接触させないでください。 火災、やけど、感電などの原因となります。
86	アダプタ	②警告	 禁止	AC アダプタに海外旅行用の変圧器(トラベルコンバーター)を使用しないでください。 発火、発熱、感電などの原因となります。
87	アダプタ	②警告	 禁止	本端末にアダプタを接続した状態で、接続部に無理な力を加えないでください。 火災、やけど、けが、感電などの原因となります。 ※ 本体取説以外に掲載の場合、「本端末」の部分は、「携帯端末」など、製品の種別に合わせた記載としてください。 ※ USB 接続ケーブルの場合は、以下にしてください。 携帯端末に USB 接続ケーブルを接続した状態で、接続部に無理な力を加えないでください。 火災、やけど、けが、感電などの原因となります。
88	アダプタ	②警告	 禁止	水などの液体(飲料水、汗、海水、ペットの尿など)で濡れたものをワイヤレスチャージャーで充電しないでください。 火災、やけど、けが、感電などの原因となります。 ※ ワイヤレスチャージャー対応機種のみ。
89	アダプタ	②警告	 濡れ手禁止	濡れた手でアダプタのコードや USB 接続ケーブル、充電端子、電源プラグ、卓上ホルダに触れないでください。 火災、やけど、感電などの原因となります。 ※「アダプタ」、「USB 接続ケーブル」、「卓上ホルダ」は、同梱品の有無に応じて記載してください。 ただし、本体取説では、アダプタを同梱していなくても「アダプタのコード」と、「電源プラグ」を記載してください。 ※ USB 接続ケーブルの場合は、以下にしてください。 濡れた手で USB 接続ケーブルや端子に触れないでください。 火災、やけど、感電などの原因となります。

No	項目	カテゴリ	絵表示	掲載文
90	アダプタ	②警告	 指示	<p>指定の電源、電圧で使用してください。 また、海外で充電する場合は、海外で使用可能なACアダプタで充電してください。 誤った電源、電圧で使用すると火災、やけど、感電などの原因となります。</p> <p>ACアダプタ: AC100V(家庭用交流コンセントのみに接続すること) 海外で使用可能なACアダプタ: AC100V~240V(家庭用交流コンセントのみに接続すること) DCアダプタ: DC12V・24V(マイナスアース車専用)</p> <p>※ アダプタの場合は各機器の定格にあった内容を記載。</p>
91	アダプタ	②警告	 指示	<p>DCアダプタのヒューズを交換する場合は、必ず指定のヒューズを使用してください。 指定以外のヒューズを使用すると、火災、やけど、感電などの原因となります。指定のヒューズに関しては、個別の取扱説明書でご確認ください。</p>
92	アダプタ	②警告	 指示	<p>電源プラグについたほこりは、拭き取ってください。 ほこりが付着した状態で使用すると、火災、やけど、感電などの原因となります。</p> <p>※「電源プラグ」の名称は、必要に応じて、各製品での名称に書き換えてください。 ※ USB 接続ケーブルの場合は、以下にしてください。 端子についたほこりは、拭き取ってください。 ほこりが付着した状態で使用すると、火災、やけど、感電などの原因となります。</p>
93	アダプタ	②警告	 指示	<p>アダプタをコンセントやアクセサリソケットに差し込むときは、確実に差し込んでください。 確実に差し込まないと、火災、やけど、感電などの原因となります。</p> <p>※ USB 接続ケーブルの場合は、以下にしてください。また、「携帯端末」の部分は製品の種別に合わせた記載としてください。 USB 接続ケーブルを携帯端末に差し込むときは、確実に差し込んでください。 確実に差し込まないと、火災、やけど、感電などの原因となります。</p>
94	アダプタ	②警告	 指示	<p>電源プラグをコンセントやアクセサリソケットから抜く場合は、アダプタのコードを引っ張るなど無理な力を加えず、アダプタを持って抜いてください。 アダプタのコードを引っ張るとコードが傷つき、火災、やけど、感電などの原因となります。</p> <p>※ USB 接続ケーブルの場合は、以下にしてください。また、「携帯端末」の部分は製品の種別に合わせた記載としてください。 USB 接続ケーブルを携帯端末から抜く場合は、USB 接続ケーブルのコードを引っ張るなど無理な力を加えず、コネクタを持って抜いてください。 USB 接続ケーブルのコードを引っ張るとコードが傷つき、火災、やけど、感電などの原因となります。</p>

No	項目	カテゴリ	絵表示	掲載文
95	アダプタ	②警告	 指示	<p>植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器などの医用電気機器を装着されている場合は、ワイヤレスチャージャーのご使用にあたって医師とよく相談してください。</p> <p>電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。</p> <p>※ ワイヤレスチャージャー対応機種のみ。</p>
96	アダプタ	②警告	 指示	<p>本端末にアダプタを抜き差しする場合は、コードを引っ張るなど無理な力を加えず、接続する端子に対してまっすぐ抜き差ししてください。</p> <p>正しく抜き差ししないと、火災、やけど、けが、感電などの原因となります。</p> <p>※ 本体取説以外に掲載の場合、「本端末」の部分は、「携帯端末」など、製品の種別に合わせた記載としてください。</p> <p>※ USB 接続ケーブルの場合は、以下にしてください。</p> <p>携帯端末に USB 接続ケーブルを抜き差しする場合は、コードを引っ張るなど無理な力を加えず、接続する端子に対してまっすぐ抜き差ししてください。</p> <p>正しく抜き差ししないと、火災、やけど、けが、感電などの原因となります。</p>
97	アダプタ	②警告	 指示	<p>充電端子が曲がるなど変形した場合は、直ちに使用をやめてください。また、変形を元に戻しての使用もやめてください。</p> <p>充電端子のショートにより、火災、やけど、けが、感電などの原因となります。</p> <p>※ USB 接続ケーブルの場合は、以下にしてください。</p> <p>端子が曲がるなど変形した場合は、直ちに使用をやめてください。また、変形を元に戻しての使用もやめてください。</p> <p>端子のショートにより、火災、やけど、けが、感電などの原因となります。</p>
98	アダプタ	②警告	 電源プラグを抜く	<p>使用しない場合は、電源プラグをコンセントやアクセサリソケットから抜いてください。</p> <p>電源プラグを差したまま放置すると、火災、やけど、感電などの原因となります。</p> <p>※ USB 接続ケーブルの場合は、以下にしてください。また、「接続機器」の部分は製品の種別に合わせた記載としてください。</p> <p>使用しない場合は、USB 接続ケーブルを接続機器から抜いてください。</p> <p>USB 接続ケーブルを接続したまま放置すると、火災、やけど、感電などの原因となります。</p>

No	項目	カテゴリ	絵表示	掲載文
99	アダプタ	②警告	 電源プラグを抜く	<p>水などの液体(飲料水、汗、海水、ペットの尿など)が付着した場合は、直ちに電源プラグをコンセントやアクセサリソケットから抜いてください。</p> <p>付着物などによるショートにより、火災、やけど、感電などの原因となります。</p> <p>※ USB 接続ケーブルの場合は、以下にしてください。また、「接続機器」の部分は製品の種別に合わせた記載としてください。</p> <p>水などの液体(飲料水、汗、海水、ペットの尿など)が付着した場合は、直ちに USB 接続ケーブルを接続機器から抜いてください。</p> <p>付着物などによるショートにより、火災、やけど、感電などの原因となります。</p>
100	アダプタ	②警告	 電源プラグを抜く	<p>お手入れの際は、電源プラグをコンセントやアクセサリソケットから抜いて行ってください。</p> <p>抜かずに行くと、火災、やけど、感電などの原因となります。</p> <p>※ USB 接続ケーブルの場合は、以下にしてください。また、「接続機器」の部分は製品の種別に合わせた記載としてください。</p> <p>お手入れの際は、USB 接続ケーブルを接続機器から抜いて行ってください。</p> <p>抜かずに行くと、火災、やけど、感電などの原因となります。</p>
101	アダプタ	③注意	 禁止	<p>コンセントやアクセサリソケットにつないだ状態でアダプタに継続して触れないでください。</p> <p>やけどなどの原因となります。</p> <p>※ USB 接続ケーブルの場合は、以下にしてください。また、「携帯端末」の部分は製品の種別に合わせた記載としてください。</p> <p>携帯端末につないだ状態で USB 接続ケーブルに継続して触れないでください。</p> <p>やけどなどの原因となります。</p>
102	●●●UIM カード	③注意	 指示	<p>●●●UIM カードを取り扱う際は指などの体の一部を傷つけないよう、切断面にご注意ください。</p> <p>切断面が鋭利になっている場合があり、けがなどの原因となります。</p> <p>※ UIM カードは各社の呼称にあわせて記載。</p>
103	医用電気機器	②警告	 指示	<p>植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器などの医用電気機器を装着されている場合は、装着部から本端末を 15cm 以上離して携行および使用してください。</p> <p>電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。</p>
104	医用電気機器	②警告	 指示	<p>自宅療養などにより医療機関の外で、植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器以外の医用電気機器を使用される場合には、電波による影響について個別に医用電気機器メーカーなどにご確認ください。</p> <p>電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。</p>

No	項目	カテゴリ	絵表示	掲載文
105	医用電気機器	②警告	 指示	<p>身動きが自由に取れないなど、周囲の方と15cm未満に近づくおそれがある場合には、事前に本端末を電波の出ない状態に切り替えてください(機内モードまたは電源オフなど)。</p> <p>付近に植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器などの医用電気機器を装着している方がいる可能性があります。電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。</p> <p>※「機内モード」は、対応機種にあわせて記載。</p>
106	医用電気機器	②警告	 指示	<p>医療機関内における本端末の使用については、各医療機関の指示に従ってください。</p> <p>電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。</p>
107	3D映像	③注意	 禁止	<p>光過敏の既往症、心臓疾患、体調不良、睡眠不足、疲れた状態、酒気を帯びた方は3D映像を視聴しないでください。病状の悪化などの原因となることがあります。</p>
108	3D映像	③注意	 指示	<p>3D映像の視聴中に、画像が二重に見えたり立体感を感じにくくなったりした場合は、使用を中止してください。</p> <p>無理に3D映像を視聴し続けると、目の疲れなどの原因となることがあります。</p>
109	3D映像	③注意	 指示	<p>3D映像の視聴中に、疲労感や不快感(乗り物酔いに似た症状など)を感じた場合は、使用を中止してください。</p> <p>無理に3D映像を視聴し続けると、体調不良などの原因となることがあります。適度な休憩をとってください。</p> <p>電車や自動車の中など、画面が揺れやすい環境では特に注意してください。</p>
110	3D映像	③注意	 指示	<p>3D映像の視聴は、7歳以上を目安にしてください。</p> <p>子供が視聴する場合は、疲労や不快感などに対する反応がわかりにくいいため、急に体調が悪くなることがあります。</p> <p>保護者の管理のもと視聴させ、目の疲れなどが無いにご注意ください。</p>
111	3D映像	③注意	 指示	<p>3D映像の視聴時は、約30分の視聴を目安に、適度に休憩をとってください。</p> <p>長時間の視聴により、目の疲れなどの原因となることがあります。</p>
112	3D映像	③注意	 指示	<p>3D映像の視聴時は、画面の正面から視聴してください。</p> <p>正面から視聴しないと、目の疲れなどの原因となることがあります。</p> <p>※ 視聴時の推奨距離や角度がある場合には、必要に応じて追記してください。</p> <p>例: 3D映像の視聴時は、画面の正面から〇〇cm～〇〇cmの距離で視聴してください。</p>
113	車内ホルダ	②警告	 禁止	<p>視界、エアバッグなどの安全補助装置の動作を妨げる場所やハンドル、ブレーキペダル付近など、運転の妨げになる場所や同乗者の安全を損なうような場所には取り付けないでください。</p> <p>交通事故やけがなどの原因となります。</p> <p>※ 車内ホルダ、または車内ホルダを同梱する製品のみ記載。</p>

No	項目	カテゴリ	絵表示	掲載文
114	車内ホルダ	②警告	 禁止	直射日光が長時間当たる場所には置かないでください。 キャビネットの変形・変色や、火災などの原因となります。 また、ケースの一部が熱くなり、やけどなどの原因となります。 ※ 車内ホルダ、または車内ホルダを同梱する製品のみ記載。
115	車内ホルダ	②警告	 指示	確実に取り付けてください。 振動や急ブレーキなどで機器が外れると、事故やけがなどの原因となります。 ※ 車内ホルダ、または車内ホルダを同梱する製品のみ記載。

Appendix A. 参照文献

本ガイドラインの以下の項目については、各文献を参照している。詳しくは各文献を参照されたい。

共通説明に関する記載(No.3, 4)

一般財団法人 家電製品協会：家電製品の安全確保のための表示に関するガイドライン 第4版

ペースメーカーなどの医用電気機器に関する記載(No.19, 42, 44, 47, 48, 49, 95, 103, 104, 105, 106)

総務省：植込み型医療機器へ及ぼす影響を防止するための指針 平成27年8月版

航空機内での使用に関する記載(No.41, 43)

国土交通省：「航空機の運航の安全に支障を及ぼすおそれのある電子機器等を定める告示」
(平成26年8月7日 一部改正)